

## 神戸市教育の取り組み

### KOBE◆KATSUの推進 (中学校部活動の地域展開)

- 将来に渡って子供たちが多様な活動に参加できる機会を確保するため、2026年8月に部活動を終了し、生徒が地域の方々とともに活動する「KOBE◆KATSU(コベカツ)」の開始に向けて取組を推進



### 働き方改革の推進

- 授業時間数の適正化 (小学校:標準授業時数+40、中学校:標準授業時数+30)
- 1日の学校生活の時間の見直し (中学校は17時完全下校を推進)
- 保護者負担を考慮し、希望制による家庭訪問を実施



### 学校を支える専門人材の配置

- 児童生徒や保護者の心のケアを図り、安心な学校づくりを進めるため、教育相談及び支援を行う「スクールカウンセラー」を全校に配置
- 教員が教材研究等の本来業務に注力できるよう、学校現場において業務補助を行う「スクール・サポート・スタッフ」を全小中学校、特別支援学校に配置



### 学年(チーム)担任制の推進

- 小・中学校及び義務教育学校を対象に、学級における児童生徒の指導や学級等の業務を複数の教員で分担する「神戸型学年(チーム)担任制」を積極的に推進

令和8年度:50校予定(令和7年度:33校)



### ICTの活用

- 個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の促進
- 「子供が主役のこれからの学び」につながる教員のICTスキル向上研修の充実
- 神戸市の教員専用ポータルサイト「KOBEX」による指導案や教材データベースの提供(学習用タブレットの活用方法等を含む)
- Microsoft Teamsを用いた教育実践研修グループでの情報共有



### 充実した研修(採用前・採用後)

- 安心して1学期をスタートできるよう、採用前の2～3月に、実践的指導力を学べる「採用前研修」を実施

〈研修内容〉  
採用前研修⇒学級づくり、授業づくり、学校園現場研修など

- 採用後には、法定研修である1年次の「初任者研修」に加え、2年次・3年次にもフォローアップ研修を行うことで、切れ目なく若手教員の成長をサポート

〈研修内容〉  
初任者研修⇒学習指導(授業研修含む)、生徒指導、情報活用研修など  
2・3年次フォローアップ研修⇒民間企業研修、研究授業など



## 2027年度採用選考 主な変更ポイント

- ① 他自治体正規教員経験者区分の新設
- ② 任期付・補欠合格者区分の新設



### 採用スケジュール

出願期間	4月8日(水)～5月10日(日)
↓	
適性検査	6月5日(金)～12日(金)
↓	
第1次選考 筆記試験	6月13日(土)
集団面接試験	6月26日(金)・27日(土)
↓	
第1次選考結果発表	7月中旬頃
↓	
第2次選考 実技試験	7月21日(火)～8月8日(土)
個人面接試験	7月27日(月)～8月8日(土)
↓	
最終結果発表	9月中旬頃
↓	
採用前研修	2027年2～3月頃
↓	
採用	2027年4月1日予定

### 神戸市の教員・学校園

校種	教員数	校園数
小学校	5,524	162 分校1舎
中学校	2,810	84 分校4舎
義務教育学校	112	2
高等学校	727	8 定時制3舎
幼稚園	208	26
特別支援学校	904	6
合計	10,285	288

(教員数は2025年5月、校園数は2026年4月の数値)

### 神戸市教員の初任給等

校種	大学院修了(修士)	大学卒	短大卒
小・中学校	330,210	312,976	292,096
高等学校	334,056	314,822	-
幼稚園	316,964	297,312	275,363
特別支援学校	341,578	324,444	303,294

※2025年度給与ベース。ただし、給与改定される場合があります。  
※初任給等は、給料、教職調整額、地域手当、教員特別手当等の合計額(月額)です。  
※その他、期末勤勉手当、通勤手当、扶養手当、住宅手当等が支給されます。

神戸市教育委員会事務局教職員人事課(任用担当)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号  
神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階  
TEL (078)984-0636 FAX (078)984-0650

2026年4月発行 神戸市教育委員会事務局教職員人事課

神戸市教員採用 検索



採用HP

KOBE CITY of DESIGN

unesco Member of the Creative Cities Network

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。

“先生でよかった”  
と思える毎日を



2027年度(2026年度実施)

# 神戸市教員採用 選考案内

出願受付期間(電子申請)

2026年

4月8日(水)～5月10日(日)

神戸の教育が目指す人間像

## 心豊かに たくましく生きる人間

次代を担う子供が、よりよい社会と幸福な人生を自らつくり出していくためには、自他を尊重し、互いに知恵を出し合って困難な課題を解決していくことが重要です。それには、確かな学力、健康・体力とともに、様々な体験を通して豊かな心を養い、自ら目標に向かってたくましく生きる力を育む必要があります。これらを踏まえ、「心豊かにたくましく生きる人間」を神戸の教育が目指す人間像として掲げています。



神戸市の教育ビジョン

### 自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

自他を大切に、多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を育むとともに、子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動する、未来の創り手となるよう、教育の充実に取り組みます。

- 基本政策① 子供が主役のこれからの学び
- 基本政策② 一人ひとりに応じたきめ細やかな支援
- 基本政策③ 安全・安心で過ごしやすい環境づくり
- 基本政策④ 子供に向き合い寄り添える学校づくり
- 基本政策⑤ 地域とともにつくる開かれた学校

### 神戸市の求める人物像



豊かな人間性にあふれ、  
子供に寄り添うことができる人

子供に対する深い愛情と思いやりを持ち、いかなる困難にあっても子供の笑顔と成長につながる選択をできる人を、私たちは求めています。



自律心を備え、多様性を尊重し、  
協調・協働できる人

常に高い倫理観と規範意識に基づいて行動するとともに、多様な他者との対話やつながりを深め、互いを理解し尊重しながら、協調・協働できる人を、私たちは求めています。



自らの資質・能力向上のため、  
学び続けることができる人

時代の変化とともに学校教育に求められる役割や課題が多様化するなか、自己研鑽のために努力し続けることができる人を、私たちは求めています。

## 先輩たちからの Message

神戸市立学校園の各校種で活躍する先輩教員が、働くなかで感じていることや日々の心掛け、目標とする教員像などについてお伝えします。

### Question

- Q1 やりがいを感じる時はどんなときですか。
- Q2 日々心掛けていることはどんなことですか。
- Q3 今後どのような教員になりたいですか。

佐藤 遼香



2025年度採用 幼稚園教諭区分

- A1 私の立案した保育で、子供が「楽しかったね!」と言ってくれたことです。毎回反省点でいっぱいですが、先輩教員からアドバイスをいただきながら試行錯誤を繰り返し、子供たちの楽しむ表情を見られるよう頑張っています。
- A2 子供たち一人ひとりへの「大好き」の思いが伝わるように関わることです。笑顔で話したり、目を見てゆっくりと話を聞いたり、「一緒に遊んで楽しいね」など気持ちを言葉にすることを意識しています。
- A3 子供の思いに寄り添える教員を目指しています。「どうしてその行動をしたのか」という思いに目を向け、子供たち一人ひとりを尊重する教員でありたいです。

習田 環



2025年度採用 中学校・高等学校教諭区分(数学)

- A1 授業です。生徒が数学的な見方・考え方を働かせながら、問題について試行錯誤する姿や、私にはなかった見方・考え方で問題解決する姿を見るたびに、授業の面白さを実感しています。
- A2 生徒の小さな成長に気付けるように心掛けています。本人が気づいていないような変化でも、私が言葉にして伝えることで、自分の成長を実感し、自信を持ってもらえるようにしたいと考えています。
- A3 生徒の成長を後押しできる教師を目指していきます。どんな小さな一歩でも、それに気づいて、一緒に喜び合える存在でいたいです。

増田 彩乃



- A1 子供たちの「できた」瞬間に立ち会えることです。成長を感じられることが嬉しく、先生方と相談しながら試行錯誤する過程も楽しいです。「できた」瞬間の生き生きとした表情は忘れられません。
- A2 子供たちをじっくりと待つ時間を大切にしています。待つと、必ず動きや表情に確かな変化が現れます。その反応を見逃さず、言葉や関わりとして返していくことを常に意識しています。
- A3 子供たちと共に挑戦し続ける教員を目指します。難しさに直面しても諦めず、実践を重ね、失敗から学びながら方法を工夫し、子供たちの成長や達成感へと繋げていきたいと考えています。

2025年度採用 特別支援学校教諭区分(小学校)

A1

あまり話すことができなかつた生徒が向こうから話しかけてくれた時です。私という人間を認め、心の距離を縮めようとしてくれたことに、信頼関係ができたと感じました。

A2

日常の会話を丁寧な言葉遣いにする事です。周りの大人に対してだけでなく、子供に対しても常に正しい言葉遣いができるように心掛けています。

A3

授業力のある教員を目指しています。日々、自分の授業を見直し、子供にとって最適な学びとなるような授業を作れる教員になりたいと思っています。

2025年度採用 中学校・高等学校教諭区分(社会)

端 健太郎



2025年度採用 小学校教諭区分

敦見 信大

- A1 子供の「できた!」の瞬間と一緒に味わえることです。できるまで寄り添い、頑張る姿も小さな成長も認め続ける。その先に見せてくれる笑顔が、教員として一番のやりがいだと感じています。
- A2 あいさつと掃除です。まず自分が手本となる姿を見せたいと思い、毎日欠かさず取り組むことで、子供たちにも良い影響が広がるよう意識しています。
- A3 子供の「できた!」が増える授業をつくり、安心して生活できる学級・学校づくりに貢献したいです。子供たちが毎日を前向きに過ごせる教員を目指します。

A1

小学校に入るまでは苦手な野菜が、給食のおかげでうちでも食べられるようになりました、と保護者の方から教えていただいたことです。

A2

悩んだ時は、職場内外問わずできる限りたくさんの人に相談することを心掛けています。栄養教諭は学校に一人だからこそ、自分の考えに固執しすぎないことが大切かなと思っています。

A3

コミュニケーション能力や語彙力を高め、子供たちに食の大切さや楽しさを分かりやすく伝えられる栄養教諭になりたいです。



2025年度採用 栄養教諭区分

野中 萠

- A1 けがや体調不良等の対応に対して「ありがとう」と言われることや、休み時間に「会いに来たよ」「お話ししに来たよ」と保健室に来てくれることです。子供たちと信頼関係を築けていると実感しました。
- A2 子供たちや担任の先生方とのコミュニケーションです。少しでも多くの学年・クラスの子供たちと関わりを持つこと、また先生方との情報共有や連携を心掛けています。
- A3 子供たち、保護者の方、共に働く教職員にとって心の拠り所になるような養護教諭を目指していきたいです。小さな変化を見逃さないために、常にアンテナを高く張れるよう努めています。

大野 美咲



2025年度採用 養護教諭区分